

地域再生計画の事後評価検討委員会 議事録

日時：令和7年9月22日（月）11:00～11:45

場所：川上村役場・交流防災センター 大会議室

参加者：

長野八ヶ岳農協組合長：津金 一成（代理）、川上物産農協組合長：油井 拓也、

川上村商工会会長：高見澤 勉、川上村振興公社理事長：高見沢 八起、

南佐久南部森林組合代表理事事務：高野尾 豊吉、

川上村役場川上村長：由井 明彦（代理）、村議会議長：由井 秀樹、

連合婦人会会長：小林 智美、若妻会会長：田口 佳奈美（代理）、

青年会会長：井出 寿好、川上村社会福祉協議会会長：吉澤 正久、

川上村建設業協会会長：菊池 康剛（代理）

事務局：加藤明男、中島 啓隆、小林 峻、藤原 英紀、由井 英敏、由井 陽介、

渡辺 公道、原 岳司、林 敦彦

欠席者：川上そ菜販売農協組合長：高橋 石也、川上中学校校長：塩田 直人

（敬称略）

1 開会

2 委嘱書

3 あいさつ

副 村 長：この会議は過去策定した地域再生計画の事業評価を実施するために開催した。検証のために各種団体関係者にお集まりいただいた。忌憚のない意見をいただきたい。

4 自己紹介

5 議事

（1）地域再生計画について

事務局中島：地域再生計画について説明。

（2）地域再生計画事後評価について

事務局中島：地域再生計画事後評価調書について説明。

・目標1 林業生産活動の活性化について、カラマツの価格高騰に加え、木材の搬出材積増加により達成

・目標2 高原野菜販売額の増大について、左岸道路築造により輸送時間の短縮が図れたほか、耕作面積や野菜の販売額が増加したため達成

・目標3 農業の6次産業の促進としての雇用増大について、マルシェかわかみの雇用者数が加工場も含め順調に増加したため達成

・指標1 相木川上線～国道141へのアクセス短縮について、10分ほどの短縮

が図られたほか、農繁期の交通量の分散化も図れた。

・指標 2 林業生産活動の活性化について、林道法面、林道幅員の拡幅により木材の搬出量が増加した。

・指標 3 直売所における販売額について、市場より安価で提供できたため、9月以降が好調、10月からは佐久穂町道の駅への出店など販路も拡大した。野菜の相場を考慮すると概ね評価できる結果となった。

指標とすると一部達成していない指標もあるが、目標についてはすべての項目で目標を達成したと評価している。

今後も本地域再生計画に従い、事業を推進していきたいと考える。

直売所の販売額など天候により左右されることもあるが、相木川上線から国道141へのアクセス短縮は、観光産業にも影響が見込まれ、村全体の産業の活性化が実現できた。

委員：指標2について、最終実績が目標に達していないが、どうしてか。

事務局渡辺：台風19号災害により、当初想定していた林道整備延長が減少したため。

委員：産業道路の事業費はいくらほどか。

事務局由井：左岸道路全体で40億ほど。うち地方創生道整備推進交付金を活用した大深山産業道路は22億7千万。交付金は約9億。

委員：目標1の評価で、カラマツの価格上昇に加え、林道整備により木材の搬出量が増加しているため、「林道整備により」を加えてはいかがか。

事務局中島：承知しました。

(3) その他

特になし

6 閉会